

(わげんあいご)：穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接すること
長崎市魚の町4番1号(長崎市役所新庁舎2階【こどもみらい課内])
電話：825-1949、FAX：821-1938
相談電話(こども・子育てイーカオ相談)：825-5624、822-8573



猛暑の中、各地の夏まつり等で夏季特別補導を実施

梅雨明けと同時に猛暑日が続いた今年の夏でしたが、7月29日(土)の『ながさきみなとまつり』をはじめとした各地の夏まつり等において、恒例の夏季特別補導が実施されました。大人も子どもも開放的な気分になる行事の中で、たくさんの少年補導委員が、市補協の赤い帽子とオレンジ色のベストを着用し、非行・被害防止に向けて「愛の一声運動」に取り組みました。

特に7月29日～30日の『ながさきみなとまつり』には、両日とも大勢の市民が押し寄せ、久しぶりのイベントを十分に楽しんでいる様子でした。

少年センターが企画した“29日のみなとまつり特別補導”にはたくさんの中学校区の少年補導委員が参加し、それぞれグループを組んで会場である水辺の森公園や大波止周辺、夢彩都など雑踏の中を精力的に巡回しました。巡回の途中で出会った少年たちも赤い帽子やオレンジ色のベストを見て、少年補導委員とわかったようで、

「お疲れ様です」などと声を掛けてくれることもあったようです。

巡回の合間には、少年補導委員の皆さまも足を止め、約7000発が打ち上げられた花火大会を堪能することができたようでした。趣向を凝らしたさまざまな花火はとてもきれいで、遠くまで響き渡る大玉の爆発音は迫力満点でした。花火大会終了後は、一斉に帰路についた人々で、さらに大混雑でしたが、これまでに届いている報告書には、大きなトラブルなどの報告はありませんでした。

今後、夏季特別補導が計画されている校区の皆さまも、非行・被害防止に向けての「愛の一声運動」をよろしく願います。



白ポストでの有害図書類の回収による環境浄化活動について

少年センターでは、市内13か所に白ポストを設置し、有害図書類の回収による環境浄化活動を推進しています。地域の方に管理をお願いしている3か所を除いて、年4回、センター職員が回収作業を行っています。ネット環境の充実など青少年を取り巻く状況は以前と変わってきており、雑誌類やDVDなどの回収数は少なくなってきました。その反面、繁華街に設置してある白ポストには、食べ物の包み紙やタバコの吸殻などのゴミがたくさん入っていました。火が点いたままの吸殻を入れると火災の原因にもなりかねないと心配しています。老朽化して修理や新設が必要な白ポストもあり、今後、この取組自体の見直しも必要になってくるのではないかと考えています。



◆♥最近の補導状況報告書の記載内容から◆♥

少年補導委員が補導活動を実施した際には、補導状況報告書を提出していただくことになっています。補導状況報告書には、声かけをした際の様子などの他に、その日の天候や地域の様子、気づきや感想なども記載していただいています。

そのような中で同じような内容が何回もあるものや考えさせられるようなものをいくつか紹介します。

●観光客も多く訪れる道路公園にゴミが散乱しており、雑草も伸び放題になっている。

●人の往来が多い場所で、女子高生などが下着が見えるような状況で座っているので声をかけているが、本人は気づいていない。地面に足を開いて座っている。

●ゲームセンターなどで、我が子をほっぽらかしにしてゲームに興じている保護者がいる。

逆に、読んでいて、ほっとするような気持ちになる内容もあります。

○集団下校の際に小学1年生といろいろな楽しい話をしながら一緒に歩くことができた。

○巡回中に出会った少年から「お疲れ様です」という言葉をかけてもらい嬉しかった。


補導委員が「こんにちは」などのあいさつをすると元気に返事してくれた、という記載がたくさんあります。子どもたちの素直な反応に癒されている少年補導委員の方は多いようです。



青少年の非行・被害防止全国強調月間

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」でした。各学校においてもご協力いただきありがとうございました。少年センターでは、毎月実施している社会環境実態調査を強化して実施しました。

市内のコンビニやドラッグストア、携帯電話販売店、ゲームセンター、映画館などを訪問し、子どもたちに悪影響を与えるような状況がないかなどについて、各店舗で話を聞きました。

コンビニなどの店内で小中学生が迷惑をかけるようなことはほとんどないとの回答が多かったものの、大勢で来店し対応に困った、スケボーに乗ったまま店内に入ってきたなどの話もありました。タバコやアルコール類の販売に際してはどの店舗でも年齢確認を確実に


行っており、疑わしい場合には販売していないとのことでした。携帯電話販売店では、フィルタリング導入についての話を聞きました。導入率はほとんどの店舗でほぼ100%ということでしたが、使いたいアプリが使えない、保護者が責任を持って管理するといった理由で導入を断る場合もあるとのことでした。

【少年補導委員の皆さまへ “和顔愛語”をカラー版でお手元へ】

長崎市少年センターだより“和顔愛語”はカラーで作成していますが、印刷枚数の関係で白黒印刷での配付となっています。せっかくならカラー版を見たいという方のために、eメール添付での配付を考えています。eメール添付での配付を希望される場合には、送信先となるeメールアドレスから、氏名と中学校区名、配付希望の旨を本文中に明記の上、次のアドレスへeメールを送信してください。なお、今回eメールでの配付を希望された皆さまにも、当面は、これまで同様、紙媒体でもお届けする予定です。(山鹿)

※少年センターeメールアドレス shonen_center@city.nagasaki.lg.jp 山鹿まで

小中学校の先生方へ

コンビニ等の訪問の際に次のような話を聞くことができました。

「子どもたちがトイレを借りるために来店することは構わないのだが、何も言わずにそのまま入店する子が多い。できれば、店員にひとこと言ってから利用してほしい」とのことでした。

そこで小中学校の先生方へお願いです。自校の児童生徒に『コンビニなどでトイレを借りるときには、お店の人にひとこと断ってから利用するようにする』ということ、先生方からもぜひ伝えてください。

機会をとらえて、あいさつやコミュニケーションの大切さを子どもたちに伝えていきたいものです。



☆小崎会長のブログ「長崎市少年補導委員協議会Ⅱ」：<http://shuzousan.livedoor.blog/>
「長崎のお節介虫Ⅱ」：<http://shuzousan2.blog.jp/>